



Hewlett Packard
Enterprise

なるほどセミナーSE版

HPE Proliant Gen11/HPE Synergy Hands-on事前設定ガイド

SoftEther VPN Client

日本ヒューレット・パッカーード合同会社

2024年9月12日版

注意事項

- 本ガイドをお読みいただき、受講前に必ずインストール・設定をお済ませくださいますようお願いいたします。
- 本ガイド最終項にあるPINGによる疎通テストまで完了し、事前設定は完了となります。
- 本ツールインストールにおいて、その他の設定・通信環境の不具合等が出た場合の責はHPEとして負いかねますので予めご了承くださいませようお願いいたします。



1. 下記URLにアクセスします。

<https://www.softether-download.com/ja.aspx?product=softether>

2. 下記ように選択をします

コンポーネントを選択：SoftEther VPN Client

プラットフォームを選択：Windows

The screenshot shows the SoftEther download center interface. At the top, there is a header with the SoftEther logo and the text 'SoftEther ダウンロード センター'. Below the header, there are navigation links for 'SoftEther Project Web サイト', 'GitHub 上のソースコード', and '筑波大学 Web サイト'. The main content area is titled 'ダウンロードするソフトウェアを選択' and contains several dropdown menus. The first dropdown menu is set to 'SoftEther VPN (Freeware)'. Below it, a box highlights the 'コンポーネントを選択' dropdown menu, which is set to 'SoftEther VPN Client'. Below that, another box highlights the 'プラットフォームを選択' dropdown menu, which is set to 'Windows'. Below these, there is a 'CPU を選択' dropdown menu set to 'Intel (x86 and x64)'. At the bottom, it says 'ダウンロード可能なファイル (79 個)'. A note at the bottom states: 'ご注意: 以下の VPN ソフトウェアはその性質上、VPN 通信を行うために OS のネットワーク機能を利用します。アンチウイルスソフトウェアやファイアウォールなどで警告が表示される場合がありますが、異常ではありません。万一、アンチウイルスソフトウェアなどが動作を妨げる場合は、VPN のインストーラやプログラムファイルを検査除外リストに登録してご利用ください。'



3. 下にスクロールし、ダウンロード可能なファイルから SoftEther VPN Client(Ver4.38,Buile 9760,rtm) を見つけます。クリックして実行ファイルをダウンロードします。

Intel (x86 and x64) ▾

ダウンロード可能なファイル (79 個)

- ▶ ご注意: 以下の VPN ソフトウェアはその性質上、VPN 通信を行うために OS のネットワーク機能を利用します。アンチウイルスソフトウェアやファイアウォールなどで警告が表示される場合がありますが、異常ではありません。万一、アンチウイルスソフトウェアなどが動作を妨げる場合は、VPN のインストーラやプログラムファイルを検査除外リストに登録してご利用ください。

SoftEther VPN Client (Ver 4.38, Build 9760, rtm)

[softether-vpnclient-v4.38-9760-rtm-2021.08.17-windows-x86_x64-intel.exe \(49.11 MB\)](#)

[Non-SSL (HTTP) Download Link] Try this if the above link fails because your HTTP client doesn't support TLS 1.2.

リリース日: 2021-08-17 <最新ビルド>

[バージョン更新履歴 \(ChangeLog\)](#)

言語: *English, Japanese, Simplified Chinese*

OS: *Windows, CPU: Intel (x86 and x64)*

(Windows 98 / 98 SE / ME / NT 4.0 SP6a / 2000 SP4 / XP SP2, SP3 / Vista SP1, SP2 / 7 SP1 / 8 / 8.1 / 10 / Server 2003 SP2 / Server 2008 SP1, SP2 / Hyper-V Server 2008 / Server 2008 R2 SP1 / Hyper-V Server 2008 R2 / Server 2012 / Hyper-V Server 2012 / Server 2012 R2 / Hyper-V Server 2012 R2 / Server 2016 / Server 2019)

SoftEther VPN Client (Ver 4.37, Build 9758, beta)

[softether-vpnclient-v4.37-9758-beta-2021.08.16-windows-x86_x64-intel.exe \(49.11 MB\)](#)

[Non-SSL (HTTP) Download Link] Try this if the above link fails because your HTTP client doesn't support TLS 1.2.

リリース日: 2021-08-16

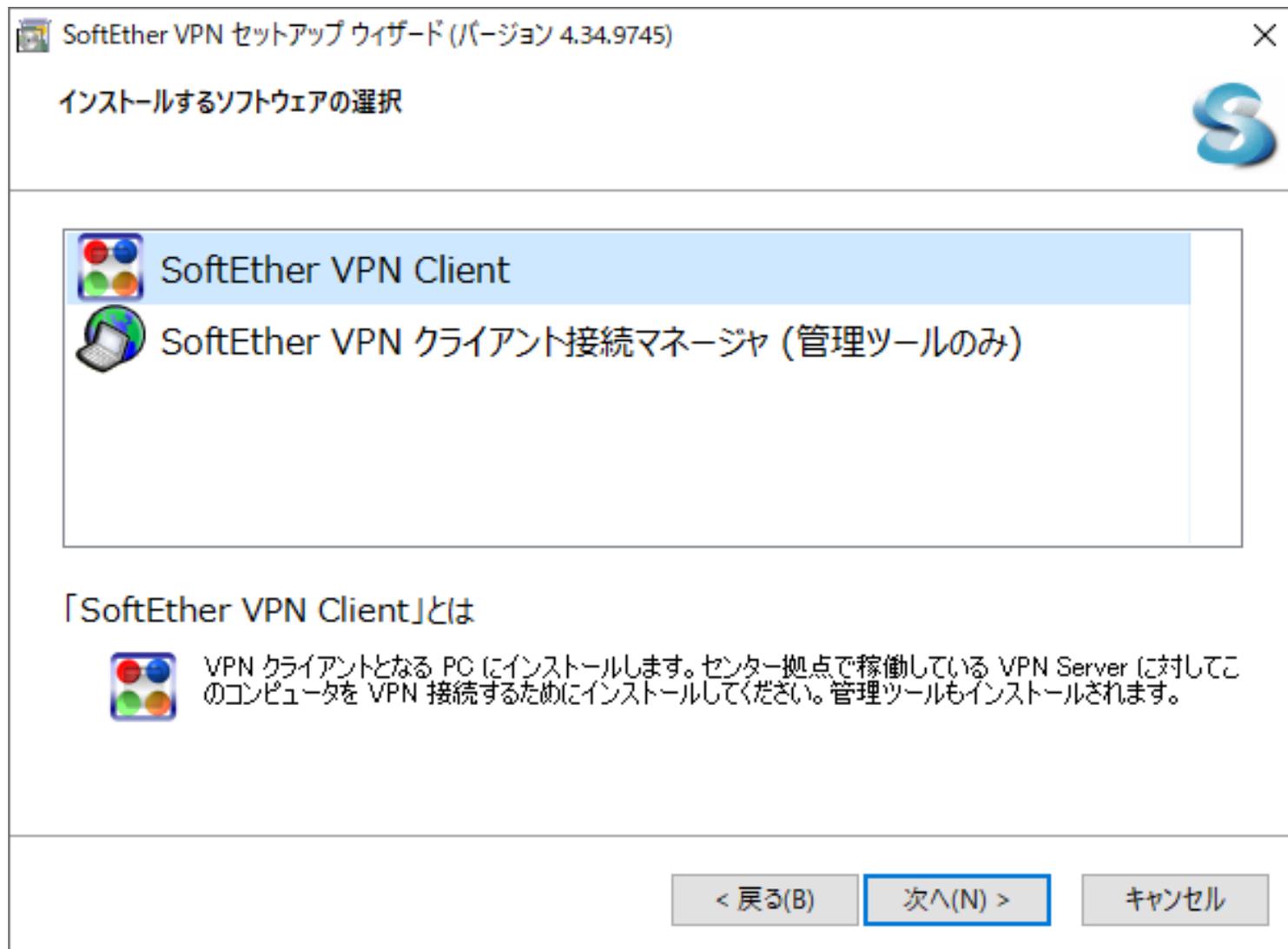
[バージョン更新履歴 \(ChangeLog\)](#)



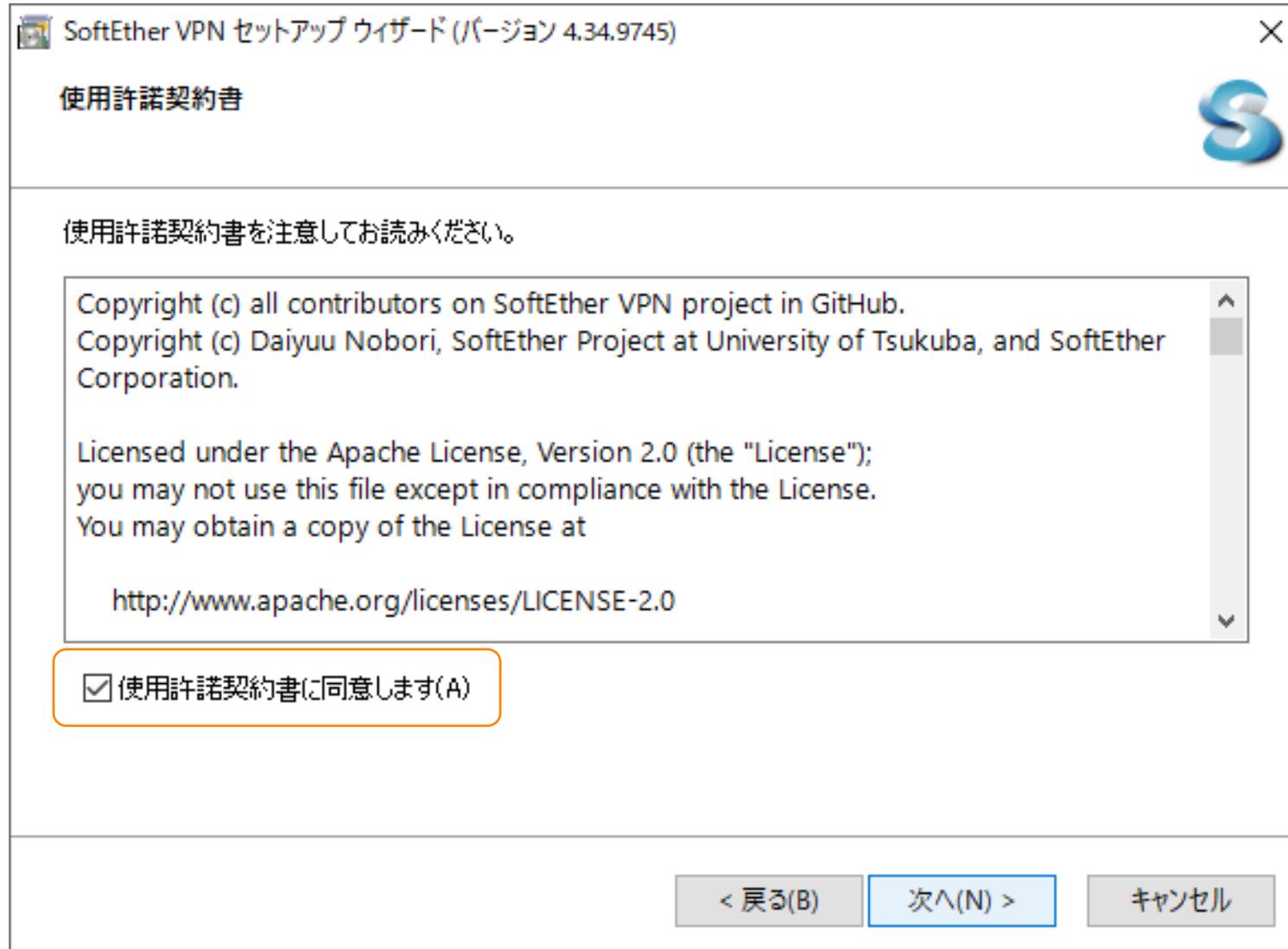
4. ダウンロードした実行ファイルをダブルクリックし、セットアップウィザードを起動します。
[次へ]をクリックします。



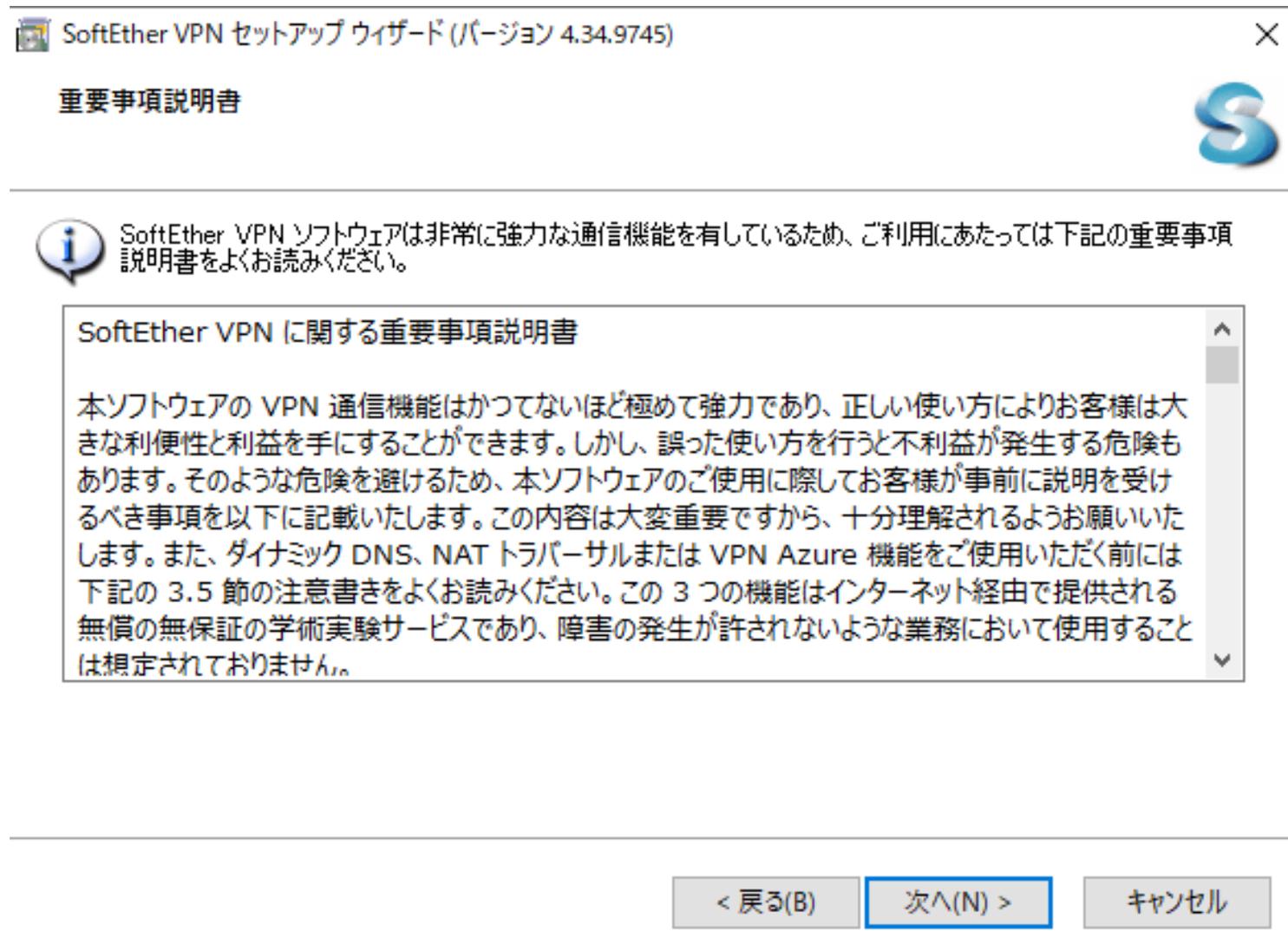
5. インストールするソフトウェアの選択画面では SoftEther VPN Clientが選択されていることを確認して[次へ]をクリックします。



6. 使用許諾契約書画面では「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れて [次へ] をクリックします。



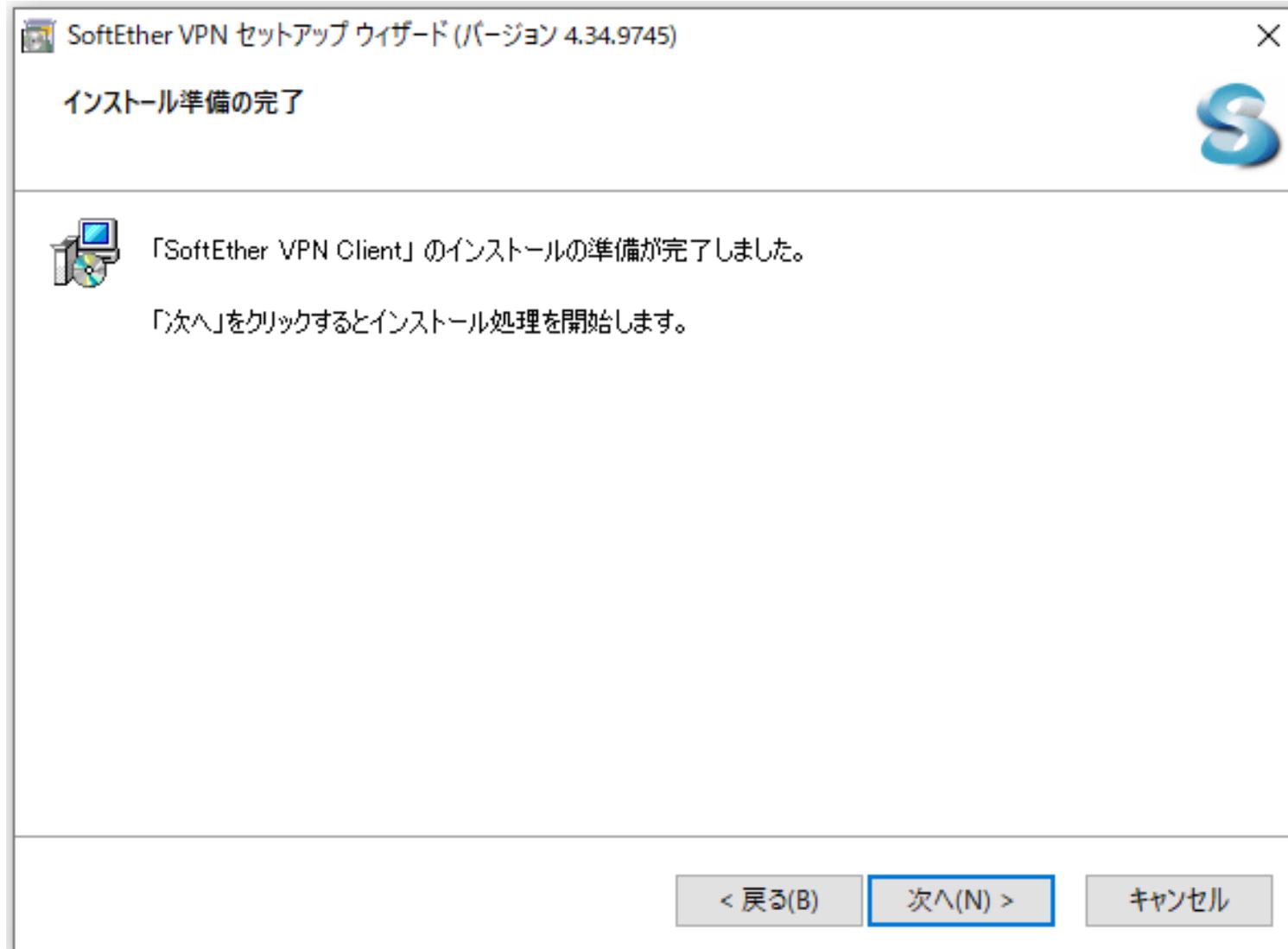
7. 重要事項説明書 画面では内容を確認して [次へ] をクリックします。



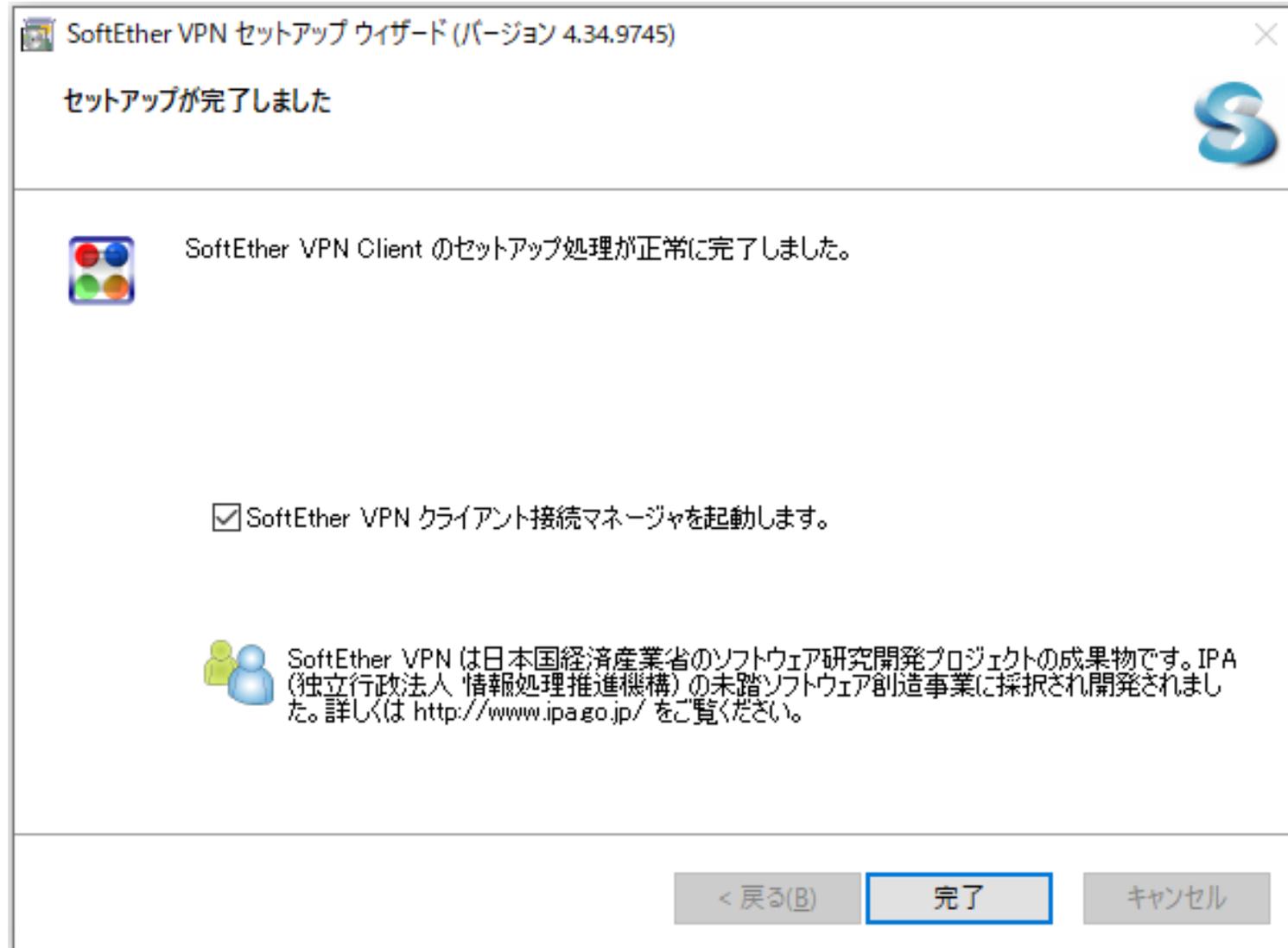
8. インストール先ディレクトリ 画面ではデフォルトのまま[次へ]をクリックします。



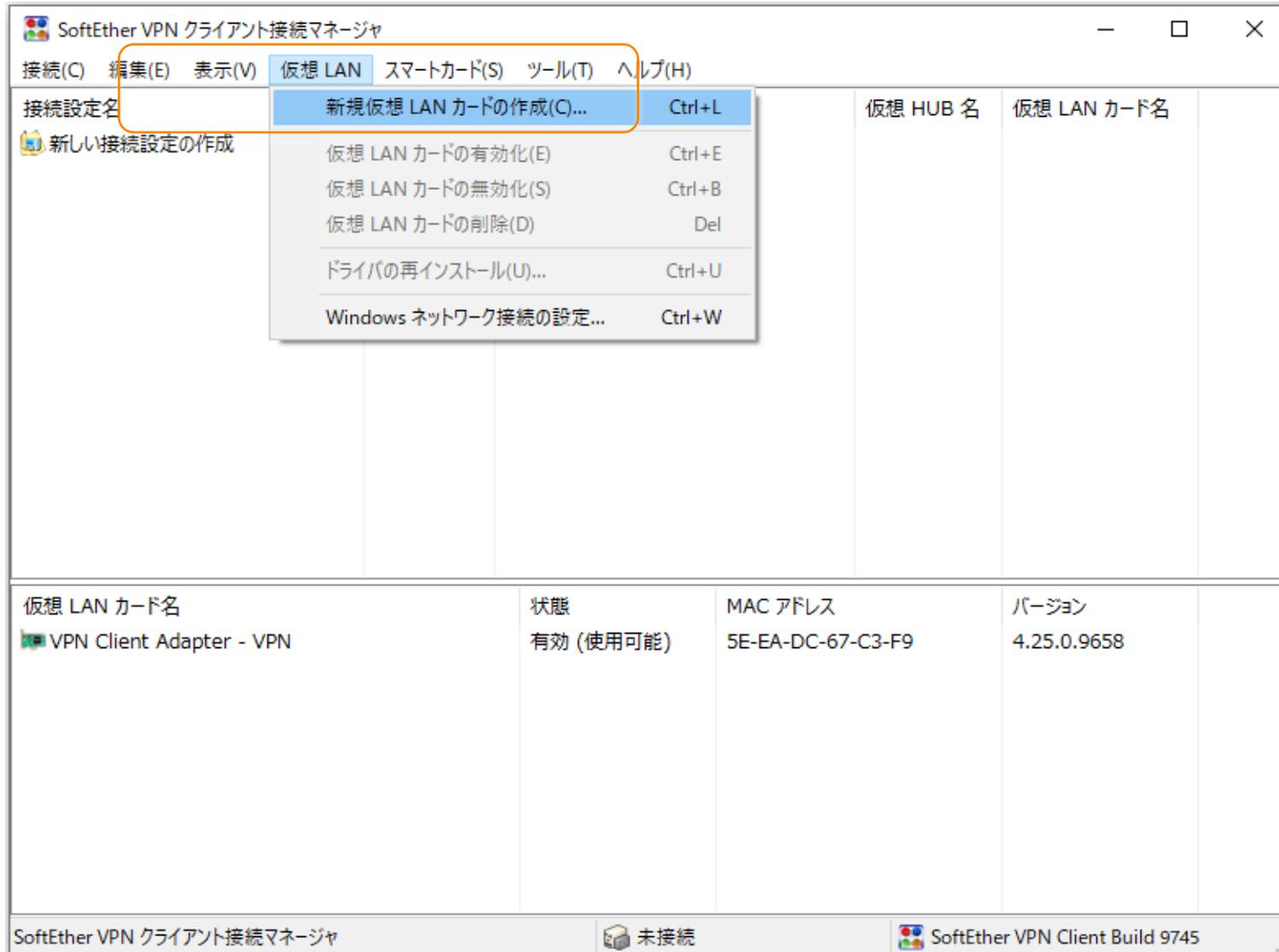
9. インストール準備の完了 画面では内容を確認して[次へ]をクリックします。
インストールが始まります。



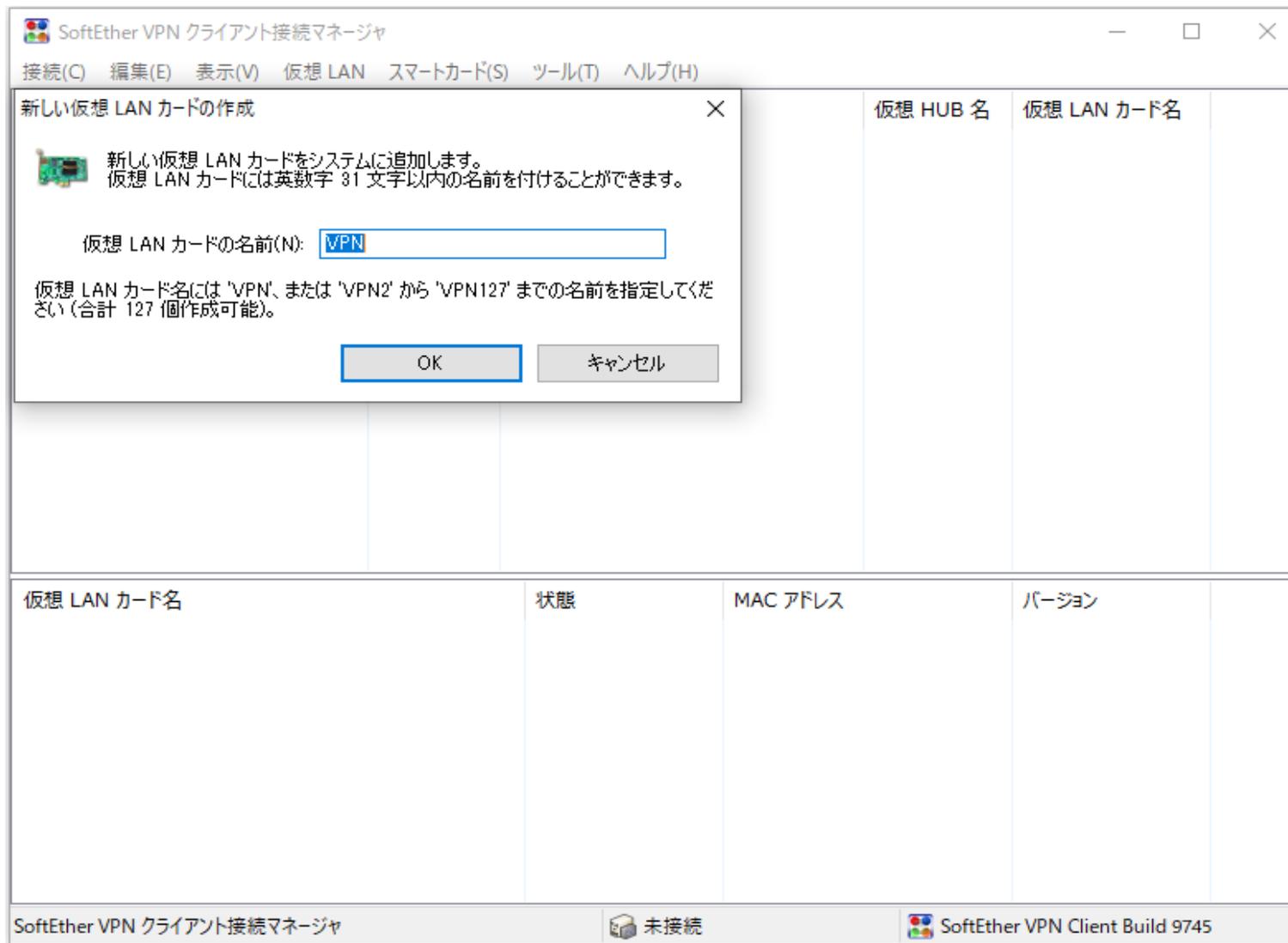
10. セットアップが完了しました 画面ではデフォルトのまま[完了]をクリックします。



11. SoftEther VPN クライアント接続マネージャが起動します。
仮想LANメニューを選択し、[新規仮想LANカードの作成]をクリックします。



12. 新しい仮想LANカードの作成 画面ではデフォルトのまま[OK]をクリックします。仮想LANカードが作成されます。



13. [新しい接続設定の作成]をダブルクリックします。



14. 新しい接続設定のプロパティ画面では下記のように設定したら[OK]をクリックします。

接続設定名：任意（例えばgen10）

ホスト名：proliant.softether.net

ポート番号：5555

仮想HUB名：ProLiant

ユーザ名：testuser

パスワード：testuser

こちらのユーザー名とパスワードは接続確認用です。
トレーニングで使用するユーザ名とパスワードは当日、講師からお伝えします。

gen10のプロパティ

VPN Server への接続設定を行います。

接続設定名(T): gen10

接続先 VPN Server の指定(B):

接続したい VPN Server が動作しているコンピュータのホスト名または IP アドレス、ポート番号、および仮想 HUB 名を指定してください。

ホスト名(H): proliant.softether.net

ポート番号(P): 5555 NAT-T 無効

仮想 HUB 名(V): ProLiant

経由するプロキシサーバーの設定(X):

プロキシサーバーを経由して VPN Server に接続することができます

IE の設定を使用(E)

プロキシの種類(M): 直接 TCP/IP 接続 (プロキシを使わない) HTTP プロキシサーバー経由接続(Q) SOCKS プロキシサーバー経由接続(S)

プロキシサーバーの接続設定(2)

サーバー証明書の検証オプション(F):

サーバー証明書を必ず検証する(3)

信頼する証明機関の証明書の管理(4)

固有証明書の登録(R) 固有証明書の表示(5)

使用する仮想 LAN カード(L):

VPN Client Adapter - VPN

ユーザー認証(A):

VPN Server に接続する際に必要なユーザー認証情報を設定してください。

認証の種類(6): 標準パスワード認証

ユーザー名(U): testuser

パスワード(Y): ●●●●●●●●

VPN Server 側のユーザーのパスワードを変更できます。

パスワードの変更(J)

通信の詳細設定(G):

VPN Server との通信が切断された場合は再接続する(Z)

再接続回数(O): 回

再接続間隔(K): 15 秒

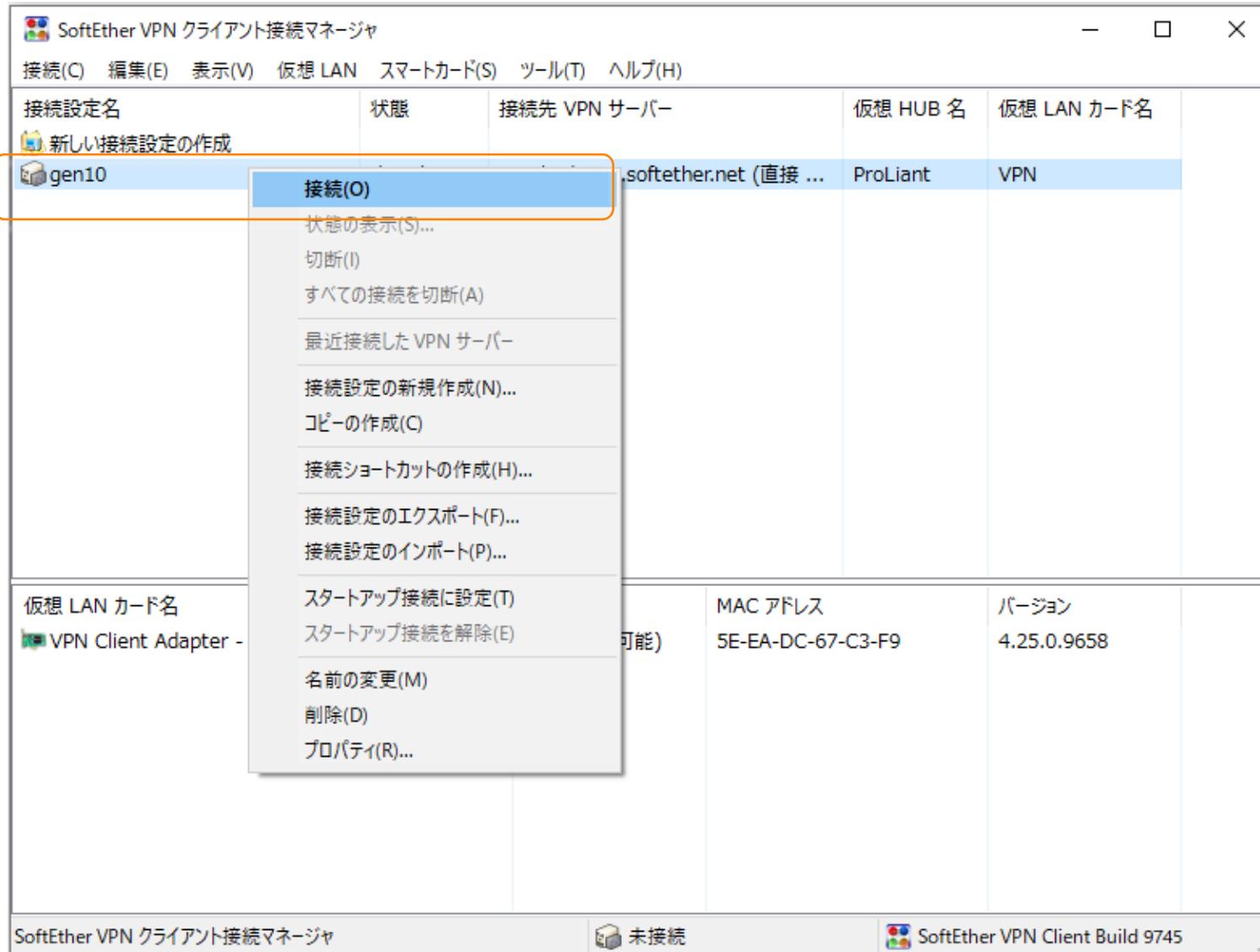
無限に再接続を試行する (常時接続) (I)

SSL 3.0 を使用する(1) 高度な通信設定(N)...

接続中の画面とエラー画面を非表示(W) IP アドレスメッセージを非表示(9)

OK キャンセル

15. 作成された接続設定を右クリックして[接続]をクリックします。



16. VPNの接続が確立されたら疎通確認します。
コマンドプロンプトを起動して、下記コマンドを実行します。

```
ping 192.168.0.61
```

17. 接続確認用アカウントのためVPN接続後、60秒経過すると下記メッセージが表示され自動的に切断しますが、正常な動作です。
問題なく疎通確認ができましたら、[接続の中断]をクリックして終了してください。



VPN サーバー "proliant.softether.net" との通信で以下のエラーが発生しました。

エラー (エラーコード 126) :

一定時間が経過したため、管理者によって設定されたセキュリティポリシーの設定により、VPN 接続が自動的に切断されました。続けて通信を行いたい場合は、もう一度接続してください。

[再試行] をクリックすると、再度接続を開始します。

今回の接続時にはこのウィンドウを非表示にする(H)

再試行(R)

接続の中断



トラブルシューティング

- ✓ 他のVPNを利用されているPCでセットアップを行う場合、VPN接続されていない状態でインストールを行ってください。VPN接続されたままインストールを行った場合、VPNによる通信ができなくなる可能性があります。
- ✓ プロトコルエラーが発生する場合
 - ✓ 接続先のVPNサーバのホスト名・ポート番号・仮想HUB名・ユーザ名・パスワードの設定を確認してください。
 - ✓ 接続元コンピュータと接続先 VPN Server との間に、プロキシサーバーや透過型ファイアウォールなどの特殊なネットワーク機器が存在する場合は、これらのネットワーク機器によって SoftEther VPN プロトコルが不正に解釈され、書き換えられたりブロックされたりしている可能性があります。途中の経路上にあるネットワーク機器の管理者に確認してください。
 - ✓ 参考：<https://ja.softether.org/4-docs/1-manual/B/11.1>